

# 被災建物復旧を支援

## 建設士協会連 3県にセンター開設

日本建築士事務所協会に「東日本大震災被災地復興支援センター」は21日、盛岡、仙台、福島3市



看板の除幕を行う連合会の三柄会長(左)と宮城県協会の東京会長

つた若手、宮城、福島3県の建築士事務所協会がそれぞれ取り組む建築物の復興業務を、全面的にバックアップする。被災住宅の修理や再建に関する相談などの業務について、今後3年にわたり専門家を派遣して応援する。運営面でも3県にそれぞれ年間1000万円を支援する。

宮城は仙台市青葉区の県建築士事務所協会内に開設された。初日は連合会の三柄博会長と県協会の栗原憲昭会長が看板の除幕を行った。

三柄会長は「被災者の暮らしを再建を担う地元協会を全面的に支える」と強調。栗原会長は「被災建築物の安全性などについて多くの相談がある。専門家としての確に対応し、不安を解消したい」と話した。

**東北の経済動向判断を据え置き**

4月・経産局

東北経済産業局は東北の4月時点の経済動向に